

## 第11回府中市市民活動推進協議会 会議録

(要旨)

- 開催日時 平成24年10月22日(月) 午前10時から正午
- 開催場所 府中市役所北庁舎3階第1会議室
- 出席者 朝岡会長、佐藤委員、日笠委員、長島委員、西埜委員、久保田委員、中嶋委員、竹内委員、横野委員、津田委員、堺委員
- 欠席者 山崎副会長、金子委員
- 傍聴者 2名
- オブザーバー 松木府中NPO・ボランティア活動センター事務局長
- 事務局 中川市民生活部次長兼市民活動支援課長、竹内支援係長、内藤事務職員、鷹野事務職員
- コンサルタント 株式会社INA新建築研究所 楠部氏、牧氏
  
- 議事 開会  
会長挨拶  
会議録の確認について  
議決事項
  - 1 府中NPO・ボランティア活動センターの現状と課題について
  - 2 今後の進め方について
  - 3 その他
  
- 資料
  - 1 第10回府中市市民活動推進協議会会議録
  - 2 府中NPO・ボランティア活動センターにおける支援機能について
  - 3 平成24年度府中市市民活動推進協議会行程表(案)

## 議決事項

### 1 府中NPO・ボランティア活動センターの現状と課題について

本件については、事務局より資料に基づき説明がなされた後、各委員から次のような発言があった。

(会 長) 本件は、諮問事項2に関する議題であり、センターが抱える課題を確認した上で、最終的には改善の方向性を示す必要がある。また、資料に記載されている第5次府中市総合計画後期基本計画と同様、現在策定中の第6次府中市総合計画にも「市民を主体としたまちづくり」という文言が含まれており、重点的に取り組まれることとなる。このことから、本協議会の協議事項は非常に重要であると言える。このことを踏まえてご意見を伺いたい。

(委 員) 「府中NPO・ボランティア活動センター」という名称に「コミュニティビジネス」の文言を加えることで、センターの活動範囲が広がり、コミュニティビジネスの推進につながると思われるがどうか。

(事務局) 現在のセンターの名称は平成14年度から使用しており、既に市民に広く浸透していることと思われるので、ここで急に変更するというのではなく、例えば新しい施設の名称に反映していくということは検討の余地があるものとする。なお、コミュニティビジネスの推進については、これまでも講座等を開催しているところであり、今後もセンターを通じて重点的に推進していくべき施策であると考えている。

(会 長) 今回の資料に「コミュニティビジネスの推進施策の実施」という項目が記載されているが、これまでの協議でも、新たな施設及びその運営を担うセンターではコミュニティビジネスを積極的に推進していくべきであり、それが施設の特徴となっていくのではないかというような議論があった。ただ今、委員からご意見いただいたとおり、コミュニティビジネスの推進をセンターの看板に据えて、センターの機能として前面に押し出していくこともよいと思われるがどうか。

(委員) 高齢者の起業支援も意識したセンターであることを示す意味でも、コミュニティビジネスの推進をしっかりと明示していく必要があると考える。

(会長) 今後、市の組織のあり方が変わっていく中で、市民活動支援の部署と産業振興の部署が分かれていく可能性などはあるのか。

(事務局) 今後、市民協働を特化していくにあたり、担当部署が独立・強化される可能性もあるとは思うが、コミュニティビジネスの推進などの課題を抱える中で、産業振興の担当部署とはこれまで同様の連携体制をとっていくものと認識している。

(委員) 今回、事務局から提出された資料では、課題や解決策が理念的に表現されているが、提言としては市民活動団体の実態に即した具体的な表現も必要となるのではないか。

また、新たな分野に関する施策を提言していくことも必要であるとは思うが、現在地域で活動している既存団体の活動支援という観点での提言も必要ではないか。

(事務局) 本資料は議論の叩き台として提案したものであり、これをもとに委員から新たなご意見をいただきたいと考えている。ただ、本資料で挙げた内容は、必ずしも新たな施策のみを提言したものというわけではなく、実際に団体からセンターに要望のあった課題に対して、現在センターで取り組み始めていたり、今後取り組みたいと考えている解決策を記載したものである。ほかにも必要な施策については、ぜひご提案いただきたいと考える。

(府中NPO・ボランティア活動センター事務局長)

ただ今、事務局から説明のあったとおりであるが、例えば「コンサルティング・課題解決機能」の中で挙げたように、NPO法改正に伴う登記書類の作成方法については、複数の団体から問い合わせがあった件であり、実際に登記所と連絡をとりながら案内したところである。今後は関係機関との連携を深め、様々な解決策を検討していきたいと考えている。

(会 長) 先ほど委員から出された意見は、本資料の内容が各団体それぞれのニーズに応じた対応策に基づいて記載されたものであり、ばらばらな印象を受けるといった趣旨であると認識している。確かに、この階層でまとめてしまうと新しい施設でどのような施策をとるべきかがはっきりしなくなるおそれがある。

そこで提案だが、本資料の項目2の後に、項目3として「センターにおける支援機能の強化」に関する項目を加え、先ほどの意見も踏まえて、新たなセンターが目指す方向性やコンセプトについて議論を進めていくのはどうか。

(各委員賛同)

(会 長) それでは、まず最初に、先ほど委員からも意見のあった「コミュニティビジネス支援機能の強化」という項目を挙げさせていただきたい。その他に、とりわけ重視すべき項目はあるか。

(委 員) 現在は、団体間の横のつながりが少ないために、イベント等の開催にあたり苦勞することが多い。今後、NPO・ボランティア団体同士をつなげていけるようなコーディネーターができる人材を育ててほしい。

(府中NPO・ボランティア活動センター事務局長)

最近、イベントの開催方法や告知手段などについて、各団体から様々な相談を受けており、今後は相談体制をパッケージ化して対応したいと考えている。

(会 長) 現在、ロビーにオープンスペースを設ける形で新しい施設の設計を進めているが、そこに様々な団体が交流する空間的な可能性が生まれたとしても、団体同士をコーディネートする人材がいなければ、委員のご指摘のとおり、新たなつながりは生まれてこないと思われる。

そこで、強化項目の2つめに、「NPO・ボランティア団体の活動支援のためのコーディネーターの養成」を加えたいと考える。

他にもご意見があればお伺いしたい。

(委員) 団体運営上の課題の一つに人材不足が挙げられると思うので、センターが講座等を通じて人材を育成し、市民団体がイベントなどを実施する際に人材を派遣してもらえらるような制度があるとよい。そこで、新しいセンターの機能の一つとして、そのような仕組みを取り入れるのがよいと考える。

また、能力のある退職者をNPO・ボランティアの世界に引き込むために、NPO・ボランティアを深く理解するための講座を、退職者を対象として定期的に開催するべきである。

なお、資料にも記載されているが、団体の運営体制を長期にわたり継続していくためには、事業運営マニュアルの作成が重要であると考えている。

(府中NPO・ボランティア活動センター事務局長)

団体への人材派遣機能が必要であるという意見であったが、資料に記載されている「センター運営ボランティア制度」は、本人のご希望に沿ったNPO・ボランティア活動が見つからない方に、当面の間、センターの実施・紹介する事業等に参加していただき、その過程でご希望に沿う内容の活動を見つけていただくための制度である。本制度を利用することで、初めて活動に参加する方がある程度慣れた後で団体に所属することが可能となるため、本制度が委員からご発言のあった課題の解決方法の一つになるものと思われる。

また、退職者向けの講座事業についてのご意見もいただいたが、センターでは年に1回、シニア向けの地域デビュー講座を行っており、毎年10名程度の参加がある。調布市でも同様の講座を行っており、退職者1,000人に案内を出しているが、講座に参加するのは10人程度であり、実際に活動への参加まで至るのは1名程度であると聞いている。また、八王子市では、市が退職後の準備講座を行っているとのことである。このような事例もあるので、何回か連続講座を行うことも効果的であると感じている。

(会長) それでは、強化項目の3つめとして、「NPO・ボランティア団体への市民の参画を促進する環境の整備」を加えたい。なお、団体との調整については、コーディネート機能が重要となるため、2つめの項目と兼ねる形がよいと考える。

(委員) 若い方はコーディネートのノウハウを持っていない場合が多いと思われるので、退職者がコーディネーターになるのが望ましいと考える。

(会長) 退職者はコミュニティビジネスのノウハウを持っている可能性が高いので、既存の団体に加入するよりも、センターの支援を受けながら自分で団体を立ち上げる方が、府中のコミュニティビジネスの活性化につながると思われる。

(委員) 先ほど調布市の例が挙げられたが、一般の企業であれば1,000人に講座の案内を出して参加者が10人しか集まらなければ、その講座が継続して開催されることはない。まずマーケティングを行った上で、なぜ参加者が集まらないのか、その理由を調査する必要があると思われる。

また、コミュニティビジネスの推進については、シニア層に向けた取り組みも重要だが、同時に若い方へ向けた取り組みも重要であると感じている。例えば、学生ボランティアや就労支援などを通じて、若い方への意識付けも必要ではないか。あえてシニア向けに特化せず、多世代に向けた施策をとってほしいと考える。

(府中NPO・ボランティア活動センター事務局長)

最近では当センターにも若い方からの相談が度々あり、自分の職務に関連したボランティアをしたいという方や、勤務先から地元でボランティアをするよう命令を受けて来られる方など、様々な方が来館されるが、現状としてはあまり受け皿がなく、個別のコーディネートが困難な状況となっている。当センターでも受け皿づくりを進めていきたいとは考えているが、特に新しいセンターにおいては、こうした若い方も来館できるような支援体制をとる必要があるものと認識している。

(会長) センターの講座であまり人が集まらないものはあるか。

(府中NPO・ボランティア活動センター事務局長)

今年実施した講座については概ね定員以上の参加がある。各講座のニーズが高いこともあるが、近年はセンターの知名度も高まってきているものと認識している。

(委員) NPO・ボランティア活動を始めたい方に団体を紹介する場合には、例えば登録団体を分野ごとに分類した団体紹介の冊子を渡すなど、センタースタッフの主観が入らないような紹介の仕方を検討する必要があると考える。正確な情報が伝わらないおそれがあるので、情報を整理、発信する機能を改善してほしい。

また、センターは今後、もっと社会状況を調査し、革新的なやり方や流行を取り入れて、府中市のNPO・ボランティアの看板になっていく必要があるものと考えている。

(会長) 現在、センターは市との契約に基づいて講座を実施しているため、仮に参加者数が少なかったとしてもすぐに経営破たんするようなことがないという現状がある。こうした状況の中、どのように緊張感を持続するかが重要であり、本当に市民が求めている講座を実施しているか、それを企画できる専門性を持った職員を抱える体制となっているかなど、システム上の課題があるものと考えている。

また、今後、府中市でコミュニティビジネスの起業講座を行ったときに、果たして参加者が集まるのかという危惧を抱いている。

(委員) 現時点でセンターはコミュニティビジネス支援のノウハウを持っていないと思うので、新しい施設が完成するまでにソフト面の機能を拡充していくことが最優先の課題であり、そのために必要な予算を確保していく必要がある。

また、府中市では、行政や自治会の機能が他市に比べて強いことから、まちづくりの主体となるような団体があまり育っていないという現状があると思うので、「市民を主体としたまちづくり」を進めていくために、今後は、防災や子育てなど各施策の鍵となるような団体を育てていく必要があると考える。第5次総合計画後期基本計画にも、市の現況として「NPO・ボランティア団体数は年々増加している」旨の記載があるが、今後はただ団体数を増やしていくのではなく、市と一緒に地域課題を解決してくれる団体を増やしていくことが重要であると考えている。

(会長) ただ今、委員からいただいた意見に基づき、資料の1の(2)の④として、「府中市におけるNPO・ボランティア活動の支援施策の課題」の中に「地域課題の解決に主体的にかかわる団体の育成

を図る必要がある。」との一文を追加したい。

また、先ほど、センターの支援機能の強化項目の一つに「NPO・ボランティア団体の活動支援のためのコーディネーターの養成」を挙げたところであるが、各委員の意見を伺う中で、団体の活動支援だけではなく、市民参画そのものをコーディネートしていくことが重要であるとの印象を受けたので、文言を変更して「NPO・ボランティア団体の活動支援及びNPO・ボランティア活動への市民参画促進のためのコーディネーターの養成」としたい。

また、行政側の課題としては「窓口の効率化」が挙げられると思うが、行政運営に資する「民営化」という方向性だけではなく、市民の目線から見た効率化として「ワンストップオフィスの設置」という方向性も考えられるのではないか。そうした観点から言えば、新たな施設にはセンターとともに市の市民活動支援担当部署が入り、市民がアクセスしやすい施設で市民活動支援のワンストップオフィスを実現することが望ましいと思われるので、強化項目の一つに「NPO・ボランティア活動支援に対応する行政窓口の強化」を加えるのがよいと考える。

よって、現時点では、センターにおける支援機能の強化について、「コミュニティビジネス支援機能の強化」、「NPO・ボランティア団体の活動支援及びNPO・ボランティア活動への市民参画促進のためのコーディネーターの養成」、「NPO・ボランティア団体への市民の参画を促進する環境の整備」、「NPO・ボランティア活動支援に対応する行政窓口の強化」の4つの項目を設けることとしたいがどうか。

(委員) 「行政窓口の強化」という文言は、「行政機能の強化」という点で「市民を主体としたまちづくり」と逆行する表現となるおそれがあるため、あくまでも「後方支援としての窓口機能の充実」といった趣旨の表現に変えるべきであると考えている。

(会長) あくまでも市民対応の円滑化が趣旨なので、文言については事務局でご検討いただきたい。他にご意見があれば伺いたい。

(委員) 今回、センターがNPO団体の現状や課題の把握をきちんとできていないのではないかという指摘があったので、今後は、各団体が抱えている課題の把握も、センターの活動内容に含めていく

方がよいのではないか。また、それが行政窓口の強化にもつながるのではないか。

(委員) 現在は、民間が担える事業であるにもかかわらず、市が行っている事例が数多く存在する。民間で行えば費用もかなり安くあがるし、そうした事業を洗い出していくことで課題も明確になり、事業の受け皿となり得る団体の有無についても把握することが可能であると思われる。他の自治体が民営化を進める中で、府中市の動きが遅れているのは問題であると思うので、行政改革の一環として民営化の問題も検討していく必要があると考える。

(会長) コミュニティビジネス支援施策の一環として、積極的に行政の仕事を市民に提供していく、つまり「市民営化」していくというスタンスが行政には必要である。ただし、施設の更新や事業の大型化、コスト削減という観点から単純に民営化を行うと、大手の業者が参入してくるため、市民が参入する余地がほとんどなくなってしまふ。一時的にはコストがかかる場合もあるが、単純な民営化ではなく、市民への業務提供を目的とした「市民営化」を実施し、5年～10年先に市民団体が事業を担えるようにしていくことで、結果的にコスト削減につながるものと思われる。

本日は、資料中のNPO・ボランティア活動の支援施策の課題として1項目を追加することと、センターの支援機能の強化について4項目を定めることを決定した。なお、文言については事務局において調整いただくこととしたい。また、この内容は文章化して市長への報告書に盛り込むこととし、今後、本協議会に提案したいと考えるがどうか。

(各委員賛同)

(会長) それでは、諮問事項2「府中NPO・ボランティア活動センターの運営に関する事項」についてはある程度方針が出たものと思われるので、今回議論した内容を踏まえて整理をしていきたいと考える。

## 議決事項

### 2 今後の進め方について

本件については、事務局より資料に基づき、図面検討の機会を確保するため協議会の開催日程を2日間追加したい旨の説明がなされた後、会長から次のような発言があった。

(会 長) 図面の検討は非常に重要な議題であるため、ただ今説明のあったとおり、開催日程の追加をご了承いただきたい。

なお、現在、事務局と私からコンサルタントに対し、既に協議会、分科会、センターから様々なアイデアを提供していることもあるので、これを踏まえて設計者として最もよいと考える図面を提出していただくことをお願いしている。よって、現在のところ、11月9日の協議会で設計図を提案する予定となっているが、時間が足りず完成度の低い図面を提出するわけにはいかないのも、もし提出が間に合わない場合には報告書の検討を行うこととしたので、ご了解いただくようお願いする。

### 3 その他

特になし

#### 次回の会議日程

日時：11月9日（金）午前10時

会場：府中駅北第2庁舎5階会議室

## 第11回府中市市民活動推進協議会

日 時 平成24年10月22日（月）  
午前10時～

場 所 府中市役所北庁舎3階第1会議室

### 会議次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 会議録の確認について

### 議決事項

- 1 府中NPO・ボランティア活動センターの現状と課題について
- 2 今後の進め方について
- 3 その他

## 府中NPO・ボランティア活動センターにおける支援機能について

### 1 府中市におけるNPO・ボランティア活動の支援施策について

(第5次府中市総合計画後期基本計画【平成20年度～25年度】より)

#### (1) 施策の目的

＜市民主体のまちづくりの実現＞

- ① 市民のNPO・ボランティア活動に対する理解と参加の促進
- ② NPO・ボランティア団体、企業や学校における社会貢献活動がより活発に行われるような環境の整備**及びコーディネート**
- ③ 各団体のネットワークの構築

#### (2) 施策の現況と課題

【現況】① NPO・ボランティア団体数は年々増加している。

② 市民活動に参加する市民は増えている。

【課題】① さらに多くの市民の理解と参加を促進できるよう、情報提供や支援を充実していく必要がある。

② 活動拠点を求めているNPO・ボランティア団体が多くあることから、活動場所の提供について検討する必要がある。

③ **団体が自主財源を確保するための検討をする必要がある。**

#### (3) 施策の方向性

##### 【施策展開】

NPO・ボランティア団体の活動の周知や活動拠点のあつ旋、**補助事業**など、団体が自立していくための支援を行い、市民が市民活動に参加しやすくなるよう、情報提供を含めたコーディネート機能の充実を図る。

##### 【主な取組内容】

- ① ボランティア活動にかかわるコーディネートの充実
- ② 市民主体による府中NPO・ボランティア活動センターの運営
- ③ 府中NPO・ボランティア活動センター以外の活動拠点の整備

### 2 府中NPO・ボランティア活動センターにおける支援機能の現状と課題について

#### (1) 相談窓口機能

主な業務：センター利用登録受付、団体運営相談、情報提供など

課題：① 市民に対する「市民活動」の周知・啓発の強化、団体以外の市民によるセンターの利用・来館の増加

⇒ ・**各地域における市民向け周知イベント等の開催**

② 団体数の増加に対応するための効率的な体制づくり

⇒ ・**アウトソーシング（外部資源の活用）の推進**

・**センター運営ボランティア制度の実施**

(2) コンサルティング・課題解決機能

主な業務：NPO法人設立ガイダンス・個別相談、経理・パソコン相談、  
団体設立支援など

- 課題：① 税務・登記等の専門知識を要する相談への対応
- ⇒ ・各行政機関（税務署・法務局等）との連携
  - ・専門家（税理士等）とのネットワーク構築
  - ・団体向けの集合研修等の実施
- ② 団体主催事業の運営に関する個別相談への対応
- ⇒ ・事業運営マニュアル等の作成

(3) 情報収集・提供機能

主な業務：NPO・ボランティア団体情報の収集・提供、広報誌の発行、  
各種イベントにおけるPR、助成金情報の収集・提供など

- 課題：① 情報提供媒体の確保（市広報の紙面減少等への対応）
- ⇒ ・既存情報媒体の利用促進（コミュニティサイト等）
  - ・新たな情報媒体の活用（ブログ・メールマガジン等）
- ② 団体情報の更新頻度の向上
- ⇒ ・団体自身による団体情報更新の仕組みの構築
- ③ 登録団体の情報提供の充実
- ⇒ ・団体の活動内容等を多くの市民に周知するための新たな媒体の検討

(4) 交流・ネットワーク機能

主な業務：団体間交流の機会の提供（つながりカフェ等）、学校・企業・  
市関係機関とのネットワーク構築、行政機関とのネットワーク  
構築、市外の間接支援組織等とのネットワーク構築など

- 課題：① 団体間交流の拡充
- ⇒ ・より多くの団体や市民が交流できる機会（シンポジウム開催後の交流会等）の提供
  - ・団体同士のマッチングの実施
- ② ネットワークの活用
- ⇒ ・団体と各機関とのマッチングの実施
  - ・構築したネットワークを活用した事業の実施

(5) 人材育成（学習）機能

主な業務：講座の開催、市民活動啓発イベント（NPO・ボランティア  
まつり等）の開催、各種イベントにおける市民活動の啓発活  
動、NPOとの協働推進事業等を通じた団体育成など

- 課 題：① コミュニティビジネスの推進施策の実施
- ⇒ ・コミュニティビジネス（創業・経営）啓発講座の開催
  - ・コミュニティビジネスの運営相談体制の確保
- ② 講座受講者のフォロー体制の確保
- ⇒ ・連続講座やフォローアップ講座の開催
  - ・講座終了後の受講者に対する活動支援
- ③ 団体育成機能の拡充
- ⇒ ・団体が団体を支援する仕組みの構築

(6) 活動拠点・機材提供機能

主な業務：会議室・設備・備品等貸出など

課 題：団体数の増加に伴う活動拠点の拡充

- ⇒ ・民間施設の空きスペース等に関する情報の収集・提供
- ・自治会保有施設の活用等に関する調整

平成24年度 府中市市民活動推進協議会 行程表 (案)

10月22日(月) 午前10時～ 府中市役所北庁舎3階第1会議室  
＜議題＞NPO・ボランティア活動センターにおける支援機能について

11月 9日(金) 午前10時～ 府中駅北第2庁舎5階会議室  
＜議題＞施設の管理運営等について、図面の検討について

**11月19日(月) 午前10時～ 府中市役所北庁舎3階第3会議室**  
**＜議題＞施設の管理運営等について、図面の検討について**

**12月 6日(木) 午後 2時～ 府中駅北第2庁舎5階会議室**  
**＜議題＞施設の管理運営等について、図面の検討について**

12月17日(月) 午前10時～ 府中市役所北庁舎3階第6会議室  
＜議題＞報告書の検討について

1月18日(金) 午前10時～ 府中市役所北庁舎3階第6会議室  
＜議題＞報告書の確認について

1月下旬 市長に報告書を提出